

平成 29 年 10 月 30 日

京田辺市長 石井 明三 様

京田辺市産業振興ビジョン推進委員会
委員長 郡 郷 孝

平成 28 年度産業振興ビジョン事業実施結果に係る意見書

1. 産業振興ビジョンの進行管理に係る審議の経過について

産業振興ビジョンの進行管理については、京田辺市当局が実施した内部点検結果について、6 月 21 日の第 1 回推進委員会において、外部有識者の入った評価チームによる検証を行うことを決定した。

評価チームは 7 月 25 日、8 月 22 日の 2 回にわたり、内部点検の手法、基準、進捗管理、各アクションプランの点検結果について、評価を行い、9 月 21 日に報告をいただいた。

10 月 5 日の第 2 回推進委員会において、評価チームの評価結果に基づき、各部会での審議を経て、各推進委員の意見を本意見書にまとめたものである。

2. 評価等について

評価チームの報告に基づいて、下記のとおり評価を行った。

『取組達成度の基準設定については、京田辺市の行政評価における事務事業評価の基準に沿って設定されており、内部点検の手法についても、担当課長による点検結果等の作成後、部内の職階に応じた段階ごとの点検を実施されており、それぞれ適切なものであると認められる。

また、点検結果については、一部のアクションプランに進め方等検討が必要なものもあると思われるが、活動指標に対する客観的な評価を実施されており、全体としては概ね適切なものと考えられる。その中で、推進委員会が出された意見については、今後アクションプランを進めるにあたって十分に配慮されたい。

なお、成果指標については、ビジョン作成時に 5 年ごとに「まちづくりプラン(第 3 次総合計画)」に合わせて設定、確認することと規定しており、毎年度数値を調査する必要性が少ないことから、毎年度の評価を活動指標により行うことは妥当であると判断する。』